

家庭的保育事業 認定研修

シラバス

目 次

科目別スケジュールと内容	1
子ども家庭福祉	3
社会的養護	4
子どもの心身の発達と保育	5
精神保健	6
子どもの栄養管理	7
小児保健①②	8
事故と安全	9
子どもの保育 ー保育原理	10
子どもの保育 ー教育原理	11

認定研修 科目別スケジュール・講義内容一覧

科目	回	講義内容	分	時間
子ども家庭福祉	1	社会福祉と子どもの生活	90分	4時間
	2	子ども家庭福祉とは何か	60分	
	3	子ども・子育て支援新制度	90分	
社会的養護 (子どもの安全と環境)	1	社会的養護とは何か、社会的養護の仕組み	60分	2時間
	2	社会的養護のニーズ、社会的養護と地域型保育	60分	
子どもの心身の 発達と保育	1	発達とは何か	60分	8時間
	2	(3歳未満児の)からだの発達	60分	
	3	(3歳未満児の)こころの発達	60分	
	4	(3歳未満児の)コミュニケーションの発達	60分	
	5	子どもの遊びと保育	90分	
	6	遊びを中心とした保育の内容と展開	90分	
	7	豊かな遊びを生み出す保育環境	60分	
精神保健 (子どもの健康管理)	1	子育て家庭と支援、子どもの心の発達課題	60分	4時間
	2	乳児期の心の問題と対応、幼児期の心の問題と対応、学童期以降の心の問題	120分	
	3	対応の考え方と保育者の役割	60分	
子どもの栄養管理	1	子どもの健康管理と食生活の意義、栄養に関する基礎知識	60分	6時間
	2	栄養に関する基礎知識	60分	
	3	子どもの発育・発達と食生活の意義	90分	
	4	食育の基本と内容	90分	
	5	特別な配慮を要する子どもへの食と栄養	60分	
小児保健① (子どもの健康管理)	1	子どもの発育・発達と保育	90分	8時間
	2	子どもの疾病と保育① - 1	60分	
	3	子どもの疾病と保育① - 2	90分	
小児保健② (子どもの安全と環境)	1	子どもの疾病と保育② - 1	90分	8時間
	2	子どもの疾病と保育② - 2	90分	
	3	環境及び衛生管理	60分	
事故と安全 (子どもの安全と環境)	1	子どもの事故の概要と事故予防の重要性、子どもの事故とは	60分	2時間
	2	事故が起きてしまった時の対応、事故はなぜ起こるのか?	60分	

子どもの保育 －保育原理－	1	保育の意義	90分	6時間
	2	保育所保育指針及び幼保連携型認定こども園教育・保育要領から学ぶ保育の基本	60分	
	3	乳児保育(3歳未満児の保育)の原理、「」、保育の内容と方法、研修と評価、保育の現状と課題	90分	
子どもの保育 －教育原理－	1	教育の意義、目的及び児童福祉等との関連性	60分	
	2	乳幼児期の教育の思想と児童観・教育観の変遷、乳幼児期の教育実践と課題	60分	

家庭的保育事業 認定研修シラバス

<科目>	子ども家庭福祉	講義 4 時間
<目標>	①現代社会における社会福祉の意義について理解する。 ②社会福祉の法体系と制度の概要について理解する。 ③現代社会における子ども家庭福祉の意義について理解する。 ④子ども家庭福祉と保育との関連性について理解する。 ⑤就学前の子ども家庭福祉保障の動向と課題について理解する。	
<内容>	1. 社会福祉と子どもの生活 <90 分> (1)社会福祉を学修する意義と方法（学びをスタートする前に） (2)社会福祉とは何か (3)社会福祉の分野 2. 子ども家庭福祉とは何か <60 分> (1)児童家庭法の理念と実態 (2)児童福祉から児童家庭福祉へ (3)児童家庭福祉から子ども家庭福祉へ (4)子ども家庭福祉サービスの体系 (5)保育と子ども家庭福祉 3. 子ども・子育て支援新制度 <90 分> (1)新制度の背景 (2)幼稚園・保育所の併存と認定こども園の拡充 (3)子どものための教育・保育給付 (4)地域子ども・子育て支援事業 (5)実施主体としての市町村	
<講義時間>	講義時間は 4 時間とする。具体的には、「社会福祉」 1 講義 1 時間とし、「児童家庭福祉」を 2 講義 計 3 時間（90 分+90 分）とする。	

<p><科目> 社会的養護（「子どもの安全と環境」）講義 2 時間</p>
<p><目標></p> <p>①現代社会における社会的養護の意義について理解する。 ②社会的養護の法体系と制度の概要について理解する。 ③社会的養護の現状と課題について理解する。</p>
<p><内容></p> <p>1. 社会的養護とは何か 〈60分〉 (1)社会的養護の定義 (2)社会的養護の基本理念 (3)社会的養護の原理</p> <p>2. 社会的養護の仕組み (1)社会的養護の体系 (2)社会的養護にかかわる行政機関 (3)社会的養護を担う施設 (4)家庭養護の担い手</p> <p>3. 社会的養護のニーズ 〈60分〉</p> <p>4. 社会的養護と地域型保育 (1)社会的養護と地域型保育の接点 (2)家庭的な養護の課題から学ぶ</p>
<p><講義時間> 講義時間は、2講義計2時間（60分+60分）とする。</p>

<p><科目></p> <p>子どもの心身の発達と保育 講義 8 時間</p>
<p><目標></p> <p>①3歳未満児の発達を理解する。</p> <p>②発達に即した保育環境や内容を考えることができるようにする。</p> <p>③低年齢児の時期における遊びの意義を理解する。</p> <p>④子どもの発達を保障するための、遊びを中心とした保育の展開について学ぶ。</p>
<p><内容></p> <p>1. 発達とは何か <60分></p> <p>(1) 発達の道筋</p> <p>(2) 保育の場における発達の捉え方：二人称的アプローチ</p> <p>2. 乳幼児期のからだの発達 <60分></p> <p>(1) 胎児の世界</p> <p>(2) 赤ちゃんから幼児期までのからだの発達の概略</p> <p>(3) 赤ちゃんからの学びの世界のひろがり</p> <p>3. 乳幼児期のこころの発達 <60分></p> <p>(1) 他者とのかかわりの育ち—アタッチメントを中心に</p> <p>(2) 自己の育ち</p> <p>4. (3歳未満児の) コミュニケーションの発達 <60分></p> <p>(1) ことばの前のことば</p> <p>(2) 赤ちゃんの音声の発達</p> <p>(3) かかわりの中で育つことば</p> <p>5. 子どもの遊びと保育 <90分></p> <p>(1) 遊びとは何か</p> <p>(2) 子どもの発達と遊び</p> <p>(3) 子どもの遊びと学び</p> <p>(4) 遊びを中心とした保育の意義</p> <p>6. 遊びを中心とした保育の内容と展開 <90分></p> <p>(1) 0歳児の保育内容と展開</p> <p>(2) 1歳児の保育内容と展開</p> <p>(3) 2歳以上児の保育内容と展開</p> <p>7. 豊かな遊びを生み出す保育環境 <60分></p> <p>(1) 見通しを持った保育—計画的な保育の必要性—</p> <p>(2) 豊かな遊びのための保育環境を考える</p> <p>(3) 遊びを育てる保育者の役割</p>
<p><講義時間></p> <p>講義時間は8時間とする。具体的には、「子どもの発達」を4講義計4時間(60分+60分+60分+60分)とし、「子どもの遊びと保育」を3講義計4時間(90分+60分+90分)とする</p>

<科目> 精神保健 （「子どもの健康管理」）		講義 4 時間
<目標> ①子育て家庭の状況と支援について理解する。 ②子どもの心の発達課題を理解する。 ③乳児期の心の問題と対応について理解する。 ④幼児期の心の問題と対応について理解する。 ⑤学童期以降の心の問題について理解する。 ⑥保育者の役割について理解し考察する。		
<内容> 1. 子育て家庭と支援 <60 分> 2. 子どもの心の発達課題 3. 乳児期の心の問題と対応 <120 分> (1)愛着形成の障がい (2)表情が乏しい (3)ロッキング、極端なおびえ、しがみつきのなど (4)対人関係 (5)集中力がない・落ち着きがない (6)食事や睡眠の問題 4. 幼児期の心の問題と対応 (1)生活習慣に表れる問題 (2)言葉に表れる問題 (3)行動に表れる問題 (4)多動・落ち着きがない (5)登園拒否 (6)対人関係などの問題 5. 学童期以降の心の問題 6. 対応の考え方と保育者の役割 <60 分> (1)対応への考え方 (2)保育者の役割		
<講義時間> 講義時間は 4 時間とする。 ①60 分：子育て家庭とその支援のレベルや支援機関を理解する。発達課題を把握し、問題行動にかかわる時に、子どもの健全な発達の方向性を理解する。 ②120 分：乳児期、幼児期それぞれの時期に、子どもが表す心の問題とその対応を理解する。また、学童期以降の子どもの発達への影響を理解する。 ③60 分：問題の捉え方と対応の考え方、および保育者の役割を理解する。		

<科目>

子どもの栄養管理

講義 6 時間

<目標>

1. 健康な生活の基本としての食生活の意義や栄養に関する基本的知識を学ぶ。
2. 子どもの発育・発達と食生活の関連について理解を深める。
3. 食育の基本とその内容及び食育のための環境を地域社会・文化とのかかわりの中で理解する。
4. 家庭や児童福祉施設における食生活の現状と課題について学ぶ。
5. 特別な配慮を要する子どもの食と栄養について理解する。

<内容>

1. 子どもの健康管理と食生活の意義 <60分>
 - (1) 子どもの食生活の重要性
 - (2) 栄養の観点からみた子どもの特徴
2. 栄養に関する基礎知識
 - (1) 栄養の基礎的概念と栄養素の種類と特徴
 - (2) 日本人の食事摂取基準の基礎知識 <60分>
 - (3) 献立作成と調理の基本
3. 子どもの発育・発達と食生活の意義 <90分>
 - (1) 乳児期の授乳・離乳の意義と食生活
 - (2) 幼児期の心身の発達と食生活
4. 食育の基本と内容 <90分>
 - (1) 養護と教育の一体性
 - (2) 食育の目標と内容、計画及び評価
 - (3) 食育のための環境
 - (4) 地域の関係機関や職員間の連携
 - (5) 食を通じた保護者支援のあり方
5. 特別な配慮を要する子どもへの食と栄養 <60分>
 - (1) 疾病及び体調不良の子どもへの対応
 - (2) 食物アレルギーのある子どもへの対応

<講義時間>

講義時間は、5 講義計 6 時間（60 分+60 分+90 分+90 分+60 分）とする。

<p><科目></p> <p>小児保健 ① ②</p> <p>(「子どもの健康管理」・「子どもの安全と環境」)</p> <p style="text-align: right;">講義 8 時間</p>
<p><目標></p> <p>①子どもの心身の健康増進を図る保健活動の意義を理解する。</p> <p>②子どもの疾病とその予防法及び適切な対応について理解し、具体的に学ぶ。</p> <p>③保育における環境及び衛生管理について理解する。</p>
<p><内容></p> <p>「小児保健①」</p> <p>1. 子どもの発育・発達と保育 <90分></p> <p>(1)子どもの心身の健康と生活習慣</p> <p>(2)身体発育と保育</p> <p>(3)身体計測の方法</p> <p>(4)身体計測の評価</p> <p>2. 子どもの疾病と保育① <60分+90分></p> <p>(1)子どもの健康状態の把握</p> <p>(2)健康観察の方法</p> <p>(3)体調不良等が発生した場合の対応</p> <p>(4)おもな症状の対応とケア</p> <p>「小児保健②」</p> <p>3. 子どもの疾病と保育② <90分+90分></p> <p>(1)感染症とは</p> <p>(2)感染症の予防と対策</p> <p>(3)主な感染症</p> <p>(4)予防接種</p> <p>4. 環境及び衛生管理 <60分></p> <p>(1)保育環境整備と保育</p> <p>(2)保育における衛生管理</p>
<p><講義時間></p> <p>講義時間は8時間とする。具体的には、「小児保健①」3講義計4時間(90分+60分+90分)、「小児保健②」3講義計4時間(90分+90分+60分)とする。</p>

<p><科目> 事故と安全（「子どもの安全と環境」）講義 2 時間</p>
<p><目標></p> <p>①子どもの事故の概略、事故予防の重要性について理解する。 ②実際の子どもの事故の内容、その予防について理解する。 ③事故が起きてしまった時の対応について理解する。 ④事故と人とのかかわりを理解する。</p>
<p><内容></p> <p>1. 子どもの事故の概要と事故予防の重要性 (1)日本における小児死亡原因 (2)不慮の事故の位置づけ</p> <p>2. 子どもの事故とは (1)事故の詳細 1)屋内での事故 転倒・転落、誤飲・誤嚥、窒息、やけど、溺水 2)屋外での事故 交通事故、転倒・転落 (2)事故予防</p> <p>3. 事故が起きてしまった時の対応 (1)打撲、切傷・出血、捻挫、脱臼・骨折 (2)誤飲、誤嚥、異物 (3)やけど (4)溺水</p> <p>4. 事故はなぜ起こるのか？</p>
<p><講義時間> 講義時間は2時間とする。具体的には、「事故と安全」2講義計2時間（60分+60分）とする。</p>

<p><科目> 子どもの保育 ー保育原理ー 講義 4 時間</p>
<p><目標></p> <p>①保育（家庭的保育者による保育を含む）の意義について理解する。</p> <p>②保育所保育指針及び幼保連携型認定こども園教育・保育要領を通して保育の基本について学び、理解する。</p> <p>③乳児保育(3歳未満児の保育)の原理について理解する。</p> <p>④保育の内容と方法、研修と評価の基本について理解する。</p> <p>⑤保育（家庭的保育者による保育を含む）の現状と課題について考察する。</p>
<p><内容></p> <p>1. 保育の意義 <90分></p> <p>(1)保育の理念と概念</p> <p>(2)児童の最善の利益を考慮した保育</p> <p>(3)保育所保育等の施設型保育と家庭的保育者による保育</p> <p>2. 保育所保育指針及び幼保連携型認定こども園教育・保育要領から学ぶ保育の基本 <60分></p> <p>(1)養護と教育の一体性</p> <p>(2)環境を通して行う保育</p> <p>(3)生活の連続性、発達の連続性を重視した保育</p> <p>(4)保護者との連携、子育て支援</p> <p>(5)保育者の倫理</p> <p>3. 乳児保育(3歳未満児の保育)の原理 <90分></p> <p>(1)乳児保育観の変遷と保育の動向</p> <p>(2)乳児保育の原理</p> <p>(3)子ども・子育て支援制度と地域型保育給付</p> <p>4. 保育の内容と方法、研修と評価</p> <p>(1)家庭的保育者による保育の内容と方法</p> <p>(2)家庭的保育者の研修と評価</p> <p>5. 保育の現状と課題</p> <p>(1)保育の現状と課題</p> <p>(2)家庭的保育者による保育の現状と課題</p>
<p><講義時間></p> <p>講義時間は、3 講義計 4 時間（90 分+60 分+90 分）とする。</p>

<科目>

子どもの保育 —教育原理—

講義 2 時間

<目標>

- ①教育の意義、目的及び児童福祉等とのかかわりについて理解する。
- ②乳幼児期の教育の思想と児童観・教育観の変遷について理解する。
- ③乳幼児期の教育実践の様々な取り組みと課題について理解する。

<内容>

1. 教育の意義、目的及び児童福祉等との関連性 <60分>
 - (1)教育の意義、教育の目的
 - (2)乳幼児期の教育と児童福祉等との関連性
 - (3)家庭的保育者による教育
 - (4)人間形成と家庭・地域・社会との関連性

2. 乳幼児期の教育の思想と児童観・教育観の変遷 <60分>

3. 乳幼児期の教育実践と課題
 - (1)乳幼児期の教育実践：内容、方法、計画、評価
 - (2)家庭的保育における教育実践上の課題

<講義時間>

講義時間は、2 講義計 2 時間（60 分+60 分）とする。